

# 令和7年度 当初予算額決まる!!

## 一般会計187億7千92万7千円

## 特別・企業会計347億1千717万5千円

小松島市の令和7年度の一般会計、競輪事業などの特別会計、水道企業会計のそれぞれの当初予算が決まりましたので、そのあらましをお知らせします。

### 一般会計予算

#### 一般会計当初予算における主な事業

一般会計予算における主な事業と予算は、次のとおりです。

#### ひとりひとりが輝けるまちづくり

##### 新小中学校施設整備事業

1,150,328千円

学校再編にあたっては、「学び」、「人」、「地域」が二つに融合したつながりを作ることを重視し、つながりの中で子どもたちが育つ学校づくりをめざし、令和6年度に締結した基本協定等に基づき事業を推進しています。令和7年度は実施設計業務の完了を予定しており、令和9年4月の開校に向け建築工事にとりかかります。

##### 学校給食費支援事業

27,000千円

市が学校給食費における物価高騰分の一部を補てんすることにより、子育て世帯の経済的負担が増すことのないよう支援します。

##### 0～2歳児の保育料無償化

公立および私立の認可保育所等の保育料につきましては、「子育て世代応援プロジェクト」の一環として、本市独自に保育料を20%軽減し、子育て家庭の経済的負担軽減に努めています。このたび、県の補助事業を活用し、市内在住で世帯年収約640万円未満の世帯の利用者に対し、令和7年9月より第1子からの保育料無償化に向け保育料システムの改修を実施し、さらなる負担軽減を図ります。

#### 未来への活力を育むまちづくり

##### 屋内プール等整備事業

18,315千円

これまで本港地区活性化事業において検討を進めてきた複合施設整備については、中・長期的な視点を持った維

一般会計予算規模の総額は、187億7千92万7千円となり、前年度当初予算160億9千万円に比べて、16.7%増(26億8千92万7千円増)となっております。

#### 持管理、財政負担の軽減や平準化、施設配置の最適化など、再構築を図ります。令和7年度は、屋内プールの再検討や再構築における既存施設の利活用(の検討、PPP(官民連携)手法に基づいた施設整備等に係る事業者選定のための諸手続きを進めます。

##### 学校給食無農薬米供給促進事業

2,000千円

新米の供給が始まる10月頃からの2ヶ月間、小・中学校の学校給食に無農薬米を提供することで、地域内の安定的な需要確保と消費拡大を図るとともに、有機農業取組農家数及び取組面積の増加につなげます。

##### 雇用創出事業

29,800千円

市民の多様な働き方を支援し、子育てしやすい環境づくりや雇用機会の創出を図るため、「こまつしま働き方支援センター」による在宅ワーカーの育成や市内事業者のテレワーク導入を進めます。また企業版ふるさと納税を活用し、本市の地域産業の振興や、地域に新たな価値を生み出す起業・創業の促進、新しいビジネスモデルの創出など、地域経済の活性化・好循環に向けた取り組みを進めます。

##### 被災者が安心して過ごせる避難所整備事業

81,387千円

避難所生活において、被災者の健康、尊厳を守るため、段ボールベッド、簡易トイレ、発電機等の資機材を整備するとともに、食事環境の充実など、避難所における生活環境の抜本的な改善に努めます。大規模災害における、非常通信体制の確保を目的として、可搬型衛星通信設備を導入し、災害時における通信体制の機能強化を図ります。

##### 津波避難施設整備事業

271,200千円

市民の円滑な津波避難の方策として、特に、和田島北部地区における津波特定避難困難地域の解消に向け、令和4年度より同地区内に約600人を収容する津波避難施設の整備に取組んでいます。令和7年度は建設工事に着手し、令和8年度の完成、供用開始により、小松島市内の津波避難困難者ゼロをめざします。

##### 公共下水道建設改良事業

32,031千円

国の社会資本整備総合交付金を活用しながら、雨水排水施設の早期概成をめざし、令和7年度は、川南2号雨水幹線の管路整備事業等、引き続き、計画的、効率的に整備を進めます。

##### 公園管理事業

75,884千円

小松島ステーションパークについては、にぎわい創出や公共空間を活かした憩いの場の創出に向けて、子育て世代を中心に、若者や高齢者など、あらゆる世代が集い交流することのできる公園をめざし、再整備を進めています。令和7年度は、本公園施設内の防犯機能も考慮しつつ、障がい者や高齢者も安心して利用できるユニバーサルトイレの整備を行います。

##### 一般廃棄物中間処理施設整備事業

66,000千円

老朽化する現ごみ処理施設の現状を踏まえ、環境にやさしく、ライフサイクルコストにも配慮した新施設の整備に取り組んでいます。令和6年度策定の「小松島市ごみ処理施設整備基本計画」に基づき、今後の発注業務に必要となる新ごみ処理施設の諸元を計画・設計する基本設計業務や、最適な事業方式の選定に向けたPFI導入可能性調査業務を実施します。

#### みんなで創るまちづくり

##### 公用車集中管理事業

6,000千円

本庁舎で運用している公用車(部車両を除く)を、総務課で一括管理することで、事務の効率化を図るとともに、公用車の効率的な運用を通じて保有台数の縮減につなげます。

##### まち・ひと・しごと総合戦略事業

27,498千円

都市部から地方へ移住し地域活性化に向けた活動を行う「地域おこし協力隊」を活用し、本市の観光振興や地域の魅力発信等の取組を強化します。「子育て世代応援プロジェクト」の取組をさらに推進するため、子育て支援に関する情報等を集約した「子育て応援ポータルサイト」を新たに開設し、子育て世代に役立つ情報発信を強化するとともに、あらゆる世代の方に本市の施策や地域の魅力が伝わる情報発信も効果的に行います。

##### システム標準化対応業務委託料

99,286千円

市民の利便性の向上及び行政運営の効率化を図ることを目的とした自治体情報システムの標準化・共通化に対応するため、令和7年度には標準準拠システムへの円滑な移行及び、政府共通のクラウドサービスの利用環境であるガバメントクラウド内に本市の利用環境を構築し、令和8年度からの本稼働を目指します。

##### 電子申請サービス利用料

990千円

電子申請サービスにより、様々な行政手続きのオンライン化を進め、パソコンやスマートフォン、タブレットなどを利用して、いつでも(原則24時間365日)各種申請や講座の申込みなどができる環境の整備に努めます。

問 〓 お問い合わせ先

